

日本学術会議心理学・教育学委員会（第 26 期・第 7 回）
議事要旨

1. 日時 令和 8 年 4 月 11 日（土）15：00～16:00

2. 場所 日本学術会議 5 階 5－A（2）会議室

3. 出欠席（敬称略）

現地出席者： 河原純一郎、坂田省吾、嶋田洋徳、西岡加名恵、広田幸照、明和政子、
美馬のゆり、吉田 文（8 名）

欠席者： 勝野正章（1 名）

4. 議事

（1）前回議事要旨の確認を行った。

（2）意思の表出の進捗、現状確認を行った。

（3）心理学・教育学委員会の今後について議論した。

- ・ 2 つの委員会として新たに独立することにもなうメリット・デメリットを議論、
整理した

- ・ 「日本学術会議会員予定者の候補者選考に係る業績審査のお願い」として送付された
資料（6）「分野ごとの目安（セクション 1）」内に記載されている「※各分野におけ
る候補者数のうち、下線で示されたものについては、令和 2 年選考時に選考委員会枠
で選考された者が含まれているため、当該分野から 1 名分を減じた人数とする。」に
ついて、本委員会委員長より、執行部に異議を申し伝えていただくことに合意した。

- ・ 委員会関連の改選数しだいで、2 つの委員会に分離独立することについて再度相談す
ることを条件として、発展的に心理学委員会と教育学委員会とすることに合意した。

（4）その他

- ・ 第 8 回の本委員会開催について、2026 年 8 月 7 日に開催予定の臨時総会期間の昼休
みに開催することで合意した。

以上。